

学校だより

子どもの未来をみんなで創る

令和2年度 4月号

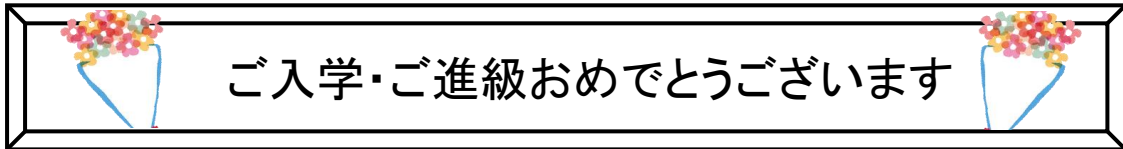
神奈川県立相模原中央支援学校

令和という新しい時代初めての新年度が始まりました。今年度は幼稚部2名、小学部101名、中学部44名、高等部117名の合計264名の子ども達と約190名の教職員でスタートです。どうかよろしく願いいたします。残念ながら年度末から新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため臨時休業が続いています。これまで経験したことのない状況の中で新年度を



迎えました。何とか入学式と新年度始めの会（校内放送にて）だけに行えましたが、子ども達やご家庭の皆様には、ストレスのたまる日々だと存じます。しかし、人と人とが会わない（接触しない）ことが最大の感染防止策になるので、しばらくの間ご協力をお願いします。何かありましたら、相談窓口を開設しています。

相模原中央支援学校は今年度開校10年目を迎えます。式典は行いませんが、交流デイ等でイベントが計画されていますので楽しみにしててください。本校が開校した平成23年は東日本大震災があり、当時は被災地域から転校してきた生徒さんもいらっしゃいました。これまで「子どもの未来をみんなで創る」という基本理念のもとに歩んでまいりました。今後も変わらず進めていきたいと思えます。 校長 鈴木 善之（すずき よしゆき）



うぐいすが春を告げ、満開の桜や菜の花、新芽の息吹広がる緑が門出の日に彩を添えています。幼児・児童・生徒ならびに保護者の皆様、ご入学ご進級おめでとうございます。心よりお祝いを申し上げます。

この4月から川崎市にある県立中原養護学校から異動してまいりました花田と申します。共にたくさんの教職員が着任いたしました。新しい仲間の一員としてどうぞよろしくお願いいたします。

4月6日、令和2年度の入学式が無事に行われました。主役の子どもたちは、うれしそうな面持ちやちょっぴり緊張した表情を浮かべ、新しい学校生活への期待をふくらませていたことと思います。いつもより少し短めの入学式となりましたが、保護者の皆様や教員、在校生の作った装飾に囲まれて迎える入学の日は、特別な一日になったことと思います。

先日、隣家の門戸に子どもが描いた虹の絵が飾られていました。「困難を乗り越え、明るい未来を信じてがんばろう！」という思いが込められていると伺いました。本校の教育目標「子どもの未来をみんなで創る」と重ね合わせ、皆で子どもたちの幸せのために、力を合わせて参りましょう。

教頭 花田 勝雄（はなだ かつお）